

# 伊豆半島北東部の地殻変動\*

## Crustal Deformations in the northeastern Izu peninsula

国土地理院  
Geographical Survey Institute

伊豆半島北東部の地震活動はこのところ低調であるが、地殻変動もこれに対応するように目立った変化は起きていない。

GPS連続観測結果を第1-3図に示す。第1図に示す基線についてその基線長及び比高の日変化を第2図以下に示す。第2図は初島-小室山間の基線長変化(上段)と比高変化(下段)である。基線長変化には1997年7月以降定常的な変化である直線的な伸びのパターンがみられるだけで、特段の変化はない。第3図の各基線変化も単調な変化だけで、異常はみられない。

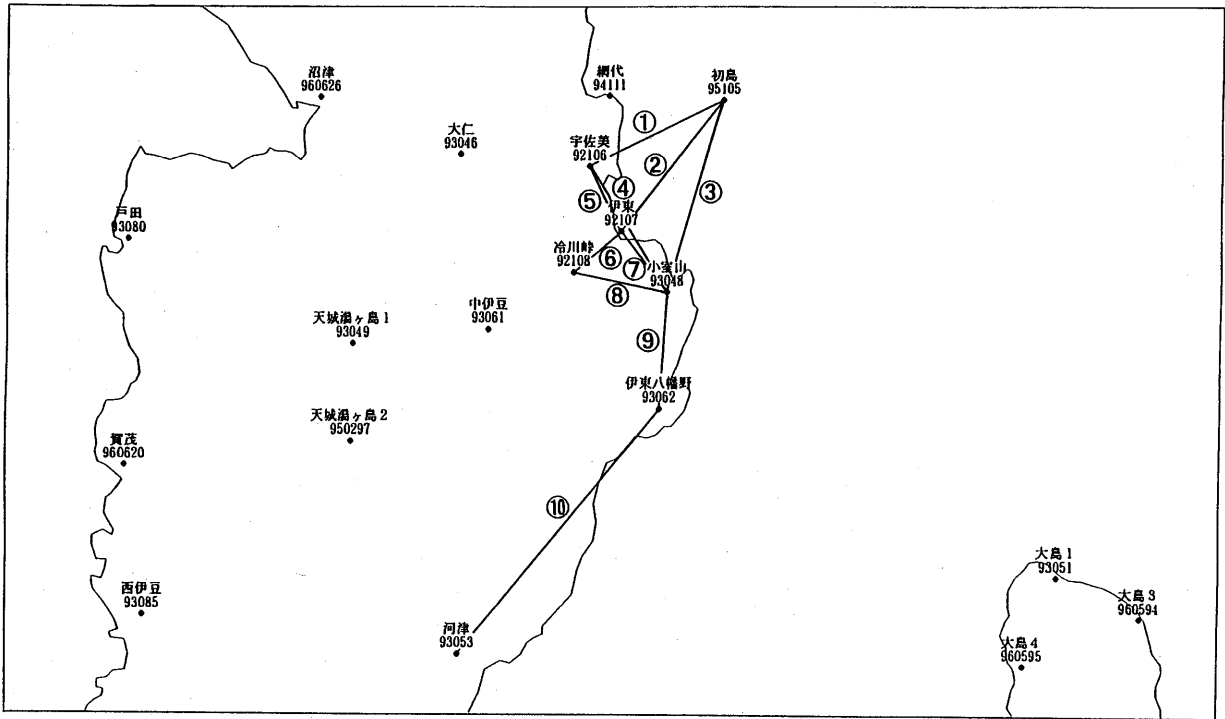
第4図は小室山-宇佐美間の光波測距儀による距離連続測定結果である。1997年秋以降距離が縮んでいるように見えるが、気温補正の過補正によるものと思われる。特に変化はない。

第5図は川奈放射基線測量結果である。前回の測量で殿山-丸池間で変化がみられたので、再測を行った。各辺の測定結果からみると、殿山-丸池は前回の測量に問題があったようで、地殻変動ではないと思われる。

第6図は月平均潮位の差による油壺を基準にした伊東、初島、真鶴の上下変動である。各験潮場ともほとんど変化がない。

---

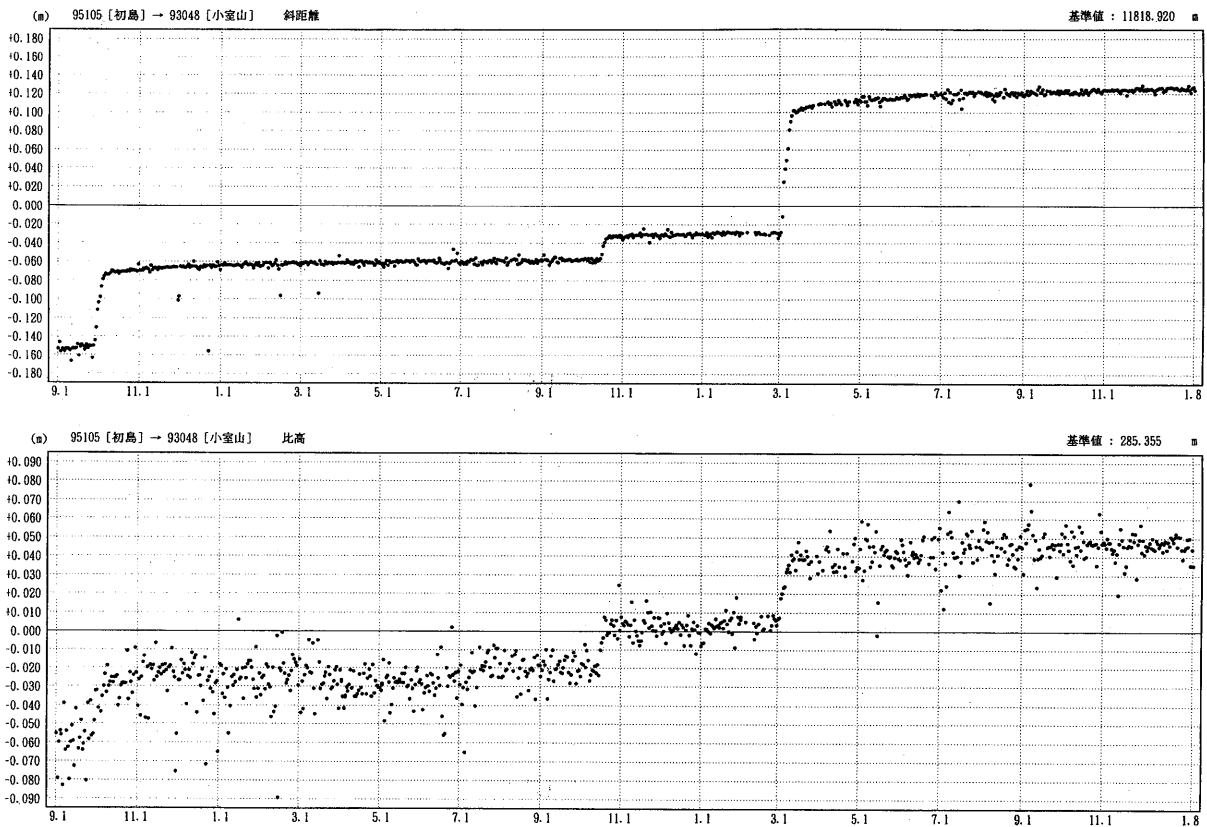
\*Received 20 Mar., 1998



第1図 伊東地区GPS連続観測点位置図

Fig. 1 GPS stations in the northeastern Izu Peninsula

期間：1995年9月1日～1998年1月8日  
座標系：WGS84

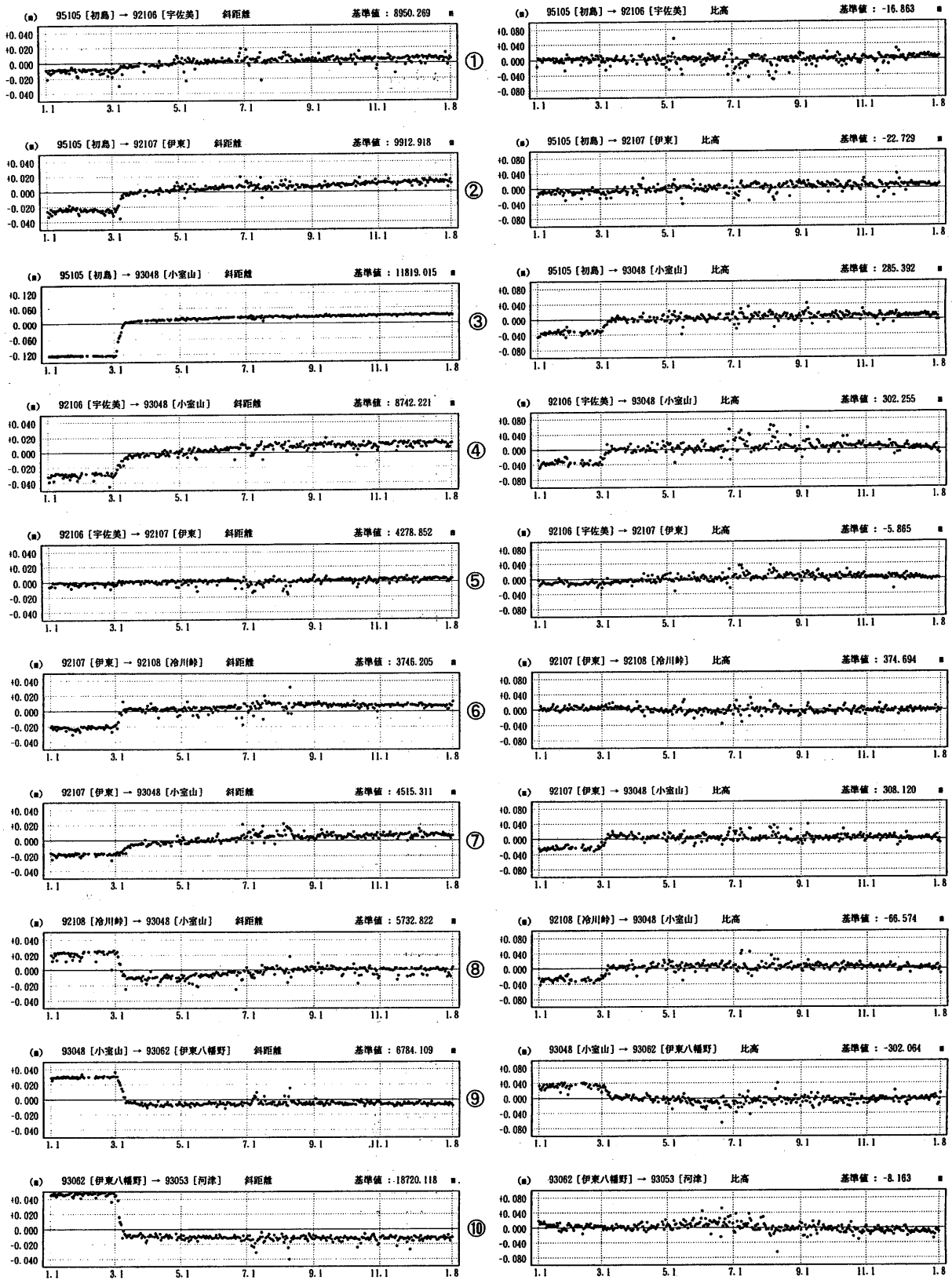


第2図 初島－小室山間の基線長変化（上図）及び比高変化（下図）

期間：1995年9月1日～1998年1月8日

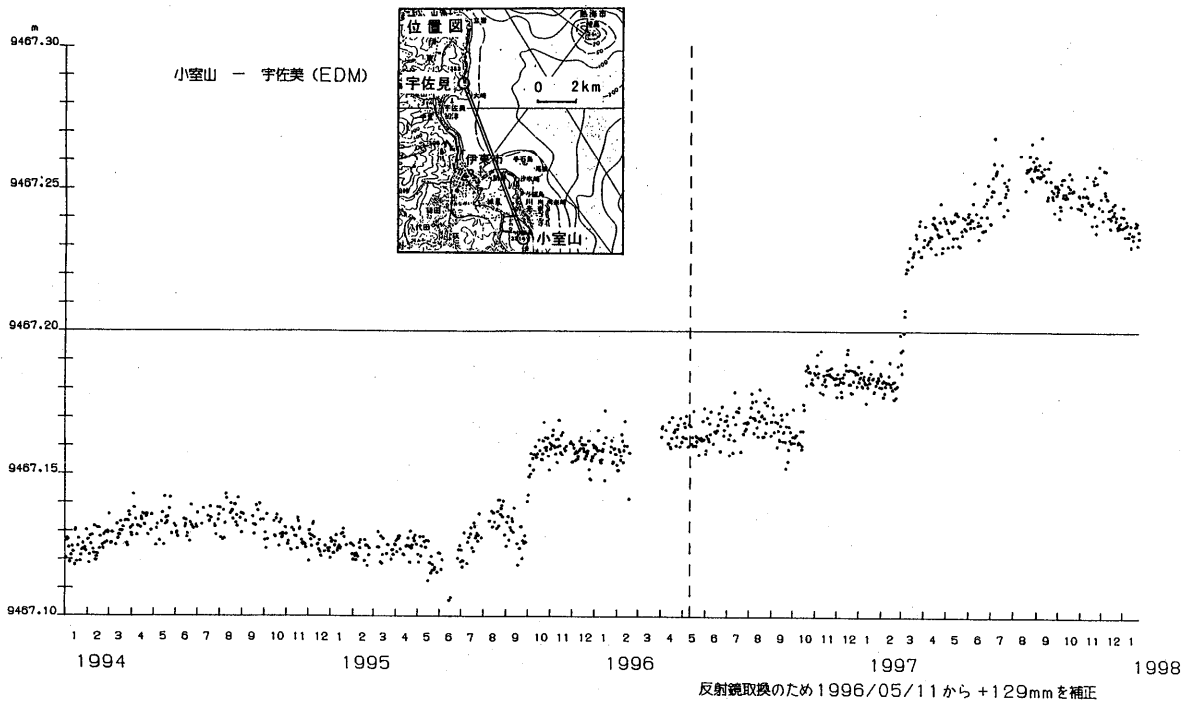
Fig. 2 Changes in distance (upper) and relative height (lower) between the Hatsushima and the Komuroyama. Period: Sep., 1, 1995～Jan., 8, 1998

期間：1997年1月1日～1998年1月8日  
座標系：WGS84

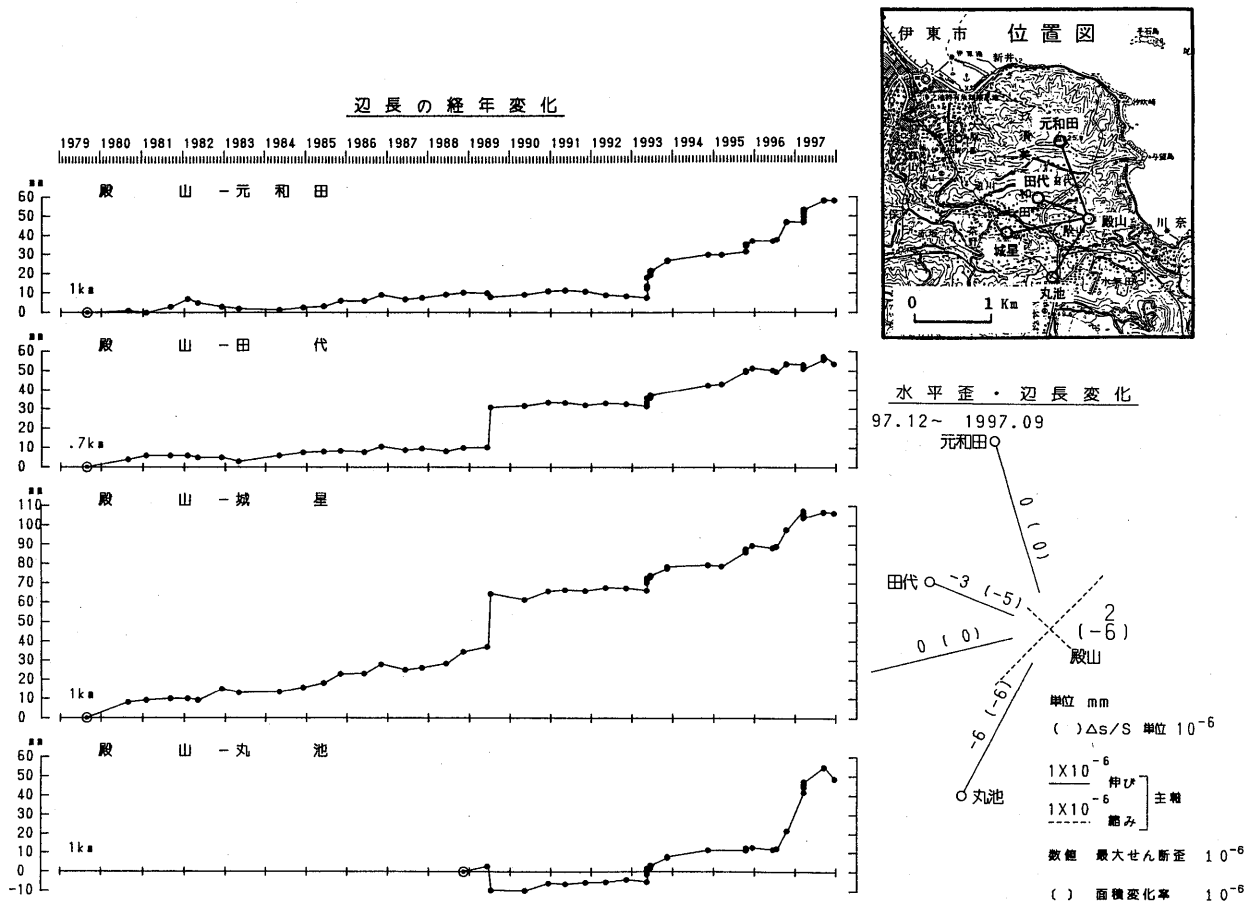


第3図 伊東地区GPS観測結果 (1997年1月1日～1998年1月8日)

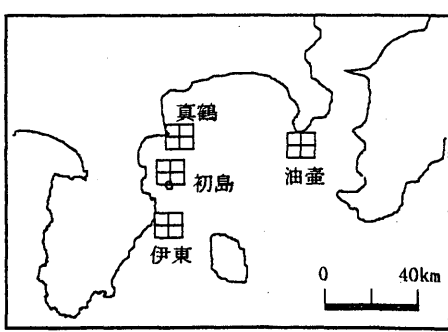
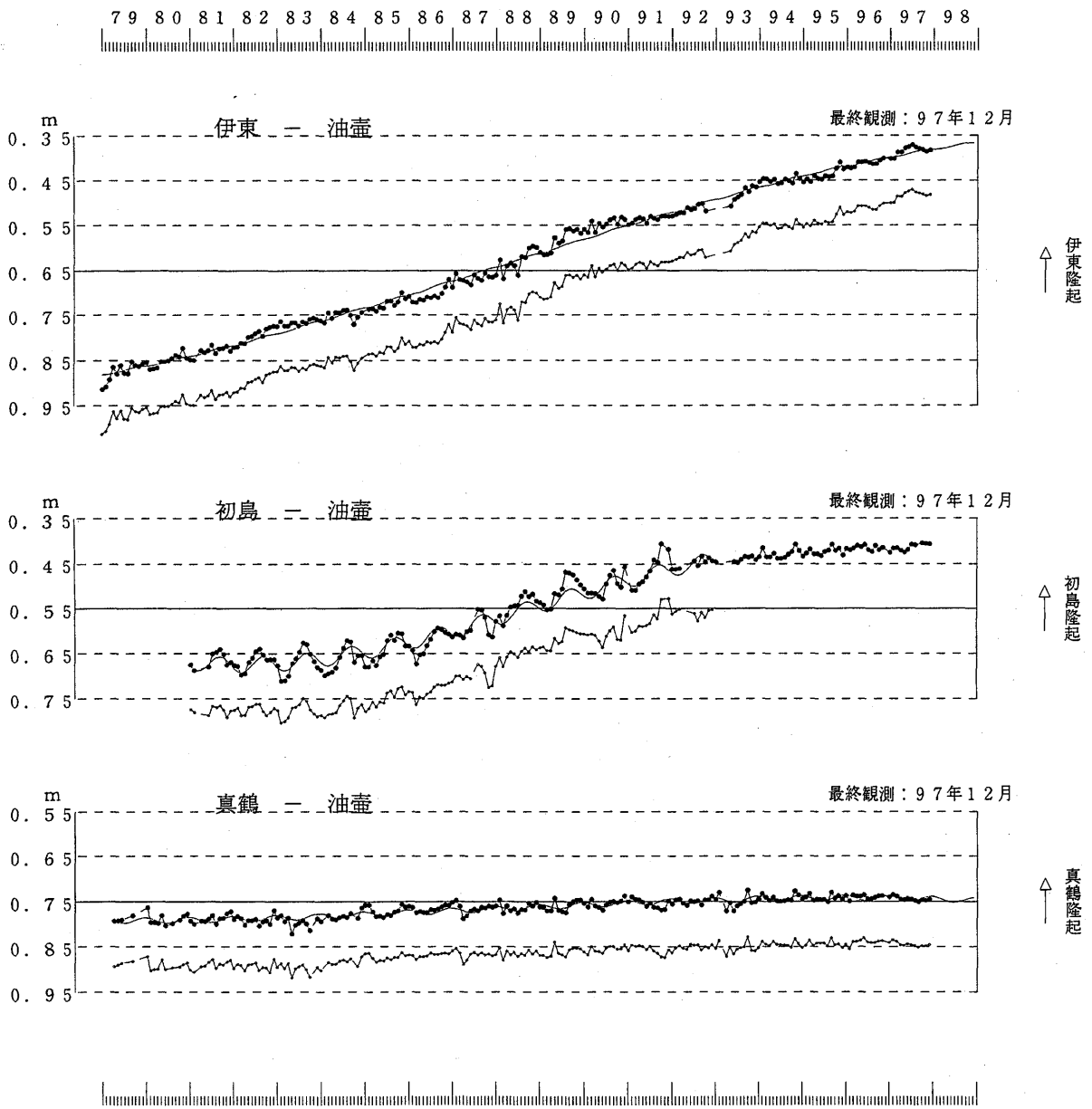
Fig. 3 Results of the continuous GPS observation in the Ito area. (Jan., 1, 1997～Jan., 8, 1998)



第4図 光波測距儀による小室山-宇佐美間の距離連続観測結果(日平均)  
 Fig. 4 Continuous distance change observation with EDM from Mt. Komuro to Usami (daily mean)



第5図 川奈地区精密辺長測量結果  
 Fig. 5 Results of precise distance measurements at Kawana radial baseline.



上段：観測値および近似曲線  
下段：年周変化を補正した値  
初島 1993年5月センサー交換

第6図 伊東、油壺、初島、真鶴各試験場間の月平均潮位差  
Fig. 6 Differences in monthly mean sea levels between Ito, Aburatsubo, Hatsuhima and Manazuru tide stations.